

# 年頭のごあいさつ



幌延町議会議長

藤井 秀夫

人が町づくりに参画する住民自治を実現し、責任をも共有する町づくりを目指し、今、真剣に協議を重ねているところです。

この中には議会からも、町の将来を担う五名の若手議員が参画してございます。

また昨年は、地球温暖化の影響からか台風の日本上陸が気象観測史上一番多い年となり、幌延町でも台風十八号により農家では、牛舎の屋根等農業施設の損壊、市街地においても住宅、公共施設の屋根等の損壊と数多くの被害がありました。

本州に目を向けますと新潟地震による甚大な被害が発生し、未だに避難を余儀なくされている状況であり、一日も早い復旧を心よりお祈りするものです。

長引く日本経済の低迷はここに来て、雇用需要が僅かながら回復の兆しが見えて来ているとのことですが、私どもの地域では「三位一体の改革」による地方交付税の削減等々、まだまだ厳しい財政運営を余儀なくされている状況です。

しかしながら、私どもは自分達の住む町をより豊かで住みよい「住んで良かった」と言う

新春を迎え、幌延町議会を代表して謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には、常日頃より町議会に対し、温かいご理解とご支援を戴くとともに厳しいご叱責をも戴き心より御礼を申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、西天北4町合併推進協議会が将来の町づくりに向け協議を重ねましたが、合併への一致点が見出せず解散となり、幌延町は単独自立の道を選択いたしました。

町は、十月三十一日にほろのべ自律プラン策定住民会議を立ち上げ、国はもとより困難な経済情勢の中を生き抜くため、町民一人一

町づくりを進めてまいらなければなりません。

新しい年を迎えるにあたり、議決機関たる町議会といたしましては、幌延町民の皆様のも更なるお力とご助言をいただき、複雑多様化する町政と住民ニーズに慎重に対応し、住みよい町「ほろのべ」を目指して汗を流している所存ですので、どうか本年も町民の皆様の相変わらぬご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

終わりに、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。



12月15日～16日 議会定例会